

■保育所あります。中央実行委員会へ事前に予約を。

要おやつ代・保険代(1日500円)。1歳以上から。

■見学・体験分科会 定員各20人程度。参加希望者は、往復はがきに、(往)希望の見学分科会・体験分科会名と申込者氏名と当日可能な連絡先(携帯番号)、住所、所属組織、(復)返信のあて先を明記の上、10月31日必着で、中央実行委員会にお申し込みください。申し込み多数の場合は、抽選。はがき1枚につき1人の申し込みを厳守。集会参加費のほかに、交通費・入館料などの実費が必要となります。当日のキャンセルは全額キャンセル料が発生します。

■宿泊は、下記をご紹介します。10月18日までに申し込んでください。

㈱富士ツーリスト 観光庁長官登録旅行業第1329号
TEL052-261-4621 FAX052-251-6913 担当/河合
kawai@kirameki-tour.jp

はたらく女性の中央集会

1956年に東京で第1回集会を開催。以来、毎年、女性労働者・業者婦人・農林漁業の女性や女性団体が共同して、女性のはたらく権利や、くらし・労働条件の改善、平和・男女平等の実現・女性の地位向上をめざして学習・交流・討論をしています。多くの県で地方集会が開かれています。

第58回

はたらく女性の中央集会

in 愛知

憲法改悪・戦争する国づくり反対！ 実現しよう原発ゼロ
許すな 労働者の使い捨て！ 輝いて働こう ジェンダー平等へ
ひろげよう いのち・くらし・平和を守る女性の共同を

11月16日 土
分科会 **ウインクあいち 会議室**
12時30分～16時
分科会終了後 はたらく女性のパレード

11月17日 日
全体会 **ウインクあいち ホール**
10時～15時

物産展 | 16日 11:30～16:00
17日 9:30～16:00

参加費 分科会 1,000円 全体会 1,000円
大学生 300円
高校生以下 無料



名古屋に
いりゃあせ、
お待ちしています



主催 第58回 はたらく女性の中央集会実行委員会・はたらく女性の中央集会愛知実行委員会
中央実行委員会 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター4F 全労連女性部気付
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620
愛知実行委員会 〒456-0006 愛知県名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館3F 愛労連気付
Tel 052-871-5433 Fax 052-871-5618

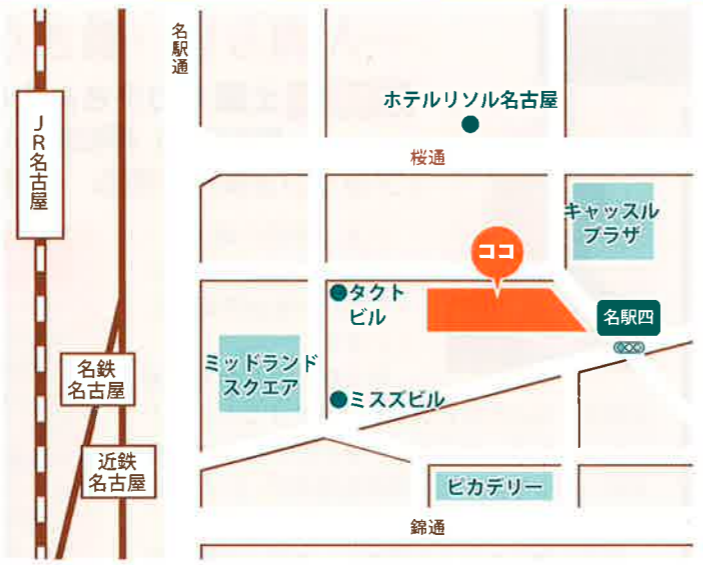
会場のご案内 **WING AICHI (ウインクあいち)**

〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL: 052-571-6131

JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

物産展 16日▶ 1204会議室
17日▶ ホール前

愛知のおみやげはぜひ物産展で。



第58回はたらく女性の中央集会

人権 環境 平和

レイラ化粧品は人が生きる環境を大切に、何よりも命が輝くことをめざして企業活動を続けてまいりました。安全性と品質の向上を第一とし、新鮮でよりよい製品を適正価格でお届けしています。これこそが女性たちの願いから生まれたレイラ化粧品のこだわりです。

心地よいうるおい 透明感ある美肌へ
保湿力No1のSSシリーズ、Biエッセンスでハリ肌へ導くエイジングケアを



レイラ化粧品1本お買上げにつき1円が平和基金に役立てられます
1本からお送ります(初回のみ送料無料)お買上げ5,000円以上は送料無料

美と平和へのかけ橋 レイラ化粧品株式会社
エコ&ピース ISO14001登録企業
(TEL)0120-73-5051 / (FAX)0120-88-0814

分科会

11月16日(土) 12時30分～16時

●受付 12:00
物産展は11:30から開店

ウインクあいち 12階会議室

	講師	テーマ	主な内容
第1	弁護士 田巻紘子さん	「国防軍」「徴兵制」「軍法会議」まで狙っているってホント? —今こそ、憲法を知っていかそう!	安倍内閣は、「集団的自衛権の容認」「秘密保全法の制定」など、先行して憲法の平和条項を崩そうとしています。行きつくところは憲法9条の改悪、「戦争する国」づくり。憲法を守りいかす運動をひろげましょう。
第2	助言者 弁護士 笹山尚人さん シンポジスト 民間非正規・青年・公務正規労働者	シンポジウム こんなにひどい働き方を変えたい! —みんなで考えよう「女性が輝く働き方」	今でも女性労働者の6割が非正規雇用で、「女性の貧困」は深刻です。青年労働者も不安定雇用と低賃金に苦しんでいます。安倍政権は「女性の活躍」と言いつつ「限定正社員制度」や派遣労働法、労働時間の規制緩和など労働法制の大改悪を検討しています。すべての労働者が手をつなぎ、人間らしくはたらくルールを確立するために、いっしょに学び、考えましょう。
第3	労働問題研究所理事 駒田富枝さん 経絡ケアセラピー研究機構代表 小嶋夕佳さん	—心と体をリフレッシュ 健康でいきいきと働き続けるために ～年代や働き方によって 変化する女性のリスク	日々の生活の中で、ストレスや体調不良を感じていませんか? 女性は、年齢や、ストレスでホルモンバランスを崩しやすい。「母性保護」や健康管理が大切。いきいきと働き続けるために学びましょう。分科会後半は、経絡調整ヨーガで日ごろの疲れもリフレッシュ。
第4	愛知県労働者 学習協議会会長 吉田豊さん	“婚活”から見る 若者の現状	なかなか結婚できない、結婚しないという若者が急増しています。そうした中で空前の“婚活”ブーム。若者の結婚感はどう変わったのでしょうか。当事者の話を聞き、時代背景や現状を深めながら、未来への展望を語り合います。若者の本音だけでなく“婚活”の仕掛け・裏側が聞けちゃうかも。
第5	大阪市立大大学院教授 木下秀雄さん	えっ! 社会保障も「自己責任」!? ～どうなる?どうする! 消費税と保育・医療・介護・生活保護・年金	社会保障の財源のためと言いながら、消費税が増税されようとしています。しかし、今、検討されている社会保障制度改革案は、医療費窓口負担の引き上げ、介護保険の利用制限や、年金支給開始年齢の引き延ばしなどの大改悪。「財政が厳しい」から、増税や社会保障削減は「仕方ない」ってホント?
第6	名城大学教授 井内尚樹さん	「グローバル化」で 私たちの働き方・くらし・ 地域経済はどうなるの?	「世界で一番企業が活躍できる国」づくりのために、秘密のうちに行われているTPP交渉や、労働法制の規制緩和など、経済グローバル化で、私たちのくらしや働き方はどうなるの? 貧困と格差をひろげる世界経済を女性の視点で考えよう!
第7	愛知教育大学 特任教授 萬屋育子さん	子どもたちが健やかに 成長するために —子どもの貧困を考えよう	子どもたちの貧困の背景には、不安定な雇用のひろがりや子育てに予算を使わない政府の姿勢があります。子どもたちの健やかな成長を保障するために何が出来るか—公的な保育制度の充実、教育費の無償化、就学援助制度の充実、給付制奨学金制度の創設など—子どもたちの実態を交流し、考えあいましょ。
体験	伝統工芸「有松絞り」体験と 宿場町散策		名鉄電車で揺られて向かう有松は「なごや市町並み保存指定」の第一号になった美しい街です。散策とあわせ、400年の歴史を持つ伝統工芸「有松絞り」の体験が今回一番の目玉。旧街道沿いには素敵なお店が並んでいるので、ショッピングも楽しめます。要実費3,700円(名古屋駅から)
見学分科会			
A	日本最古の天守 「国宝犬山城」と城下町		日本最古の木造天守閣であり、織田信長ゆかりの城「犬山城」。のぼりきった後の天守閣からの眺めは絶景です! 犬山市では近年、若者が空き店舗を利用して集う街づくりを進めています。懐かしい風景を楽しみながら城までの道のりや名古屋の食をお楽しみ頂けます。要実費1,300円(名古屋駅から)
B	ごんぎつねの里を歩もう ～新美南吉生誕100周年		マイクロバスで新美南吉ゆかりの地をめぐるります。新美南吉記念館や岩滑八幡社、新美南吉の生家や養家を見学します。「ごんぎつね」や「手ぶくろを買いに」で有名な南吉ですが平和について深く考えていた「物語」等も紹介します。散策のために歩きやすい靴でお越し下さい。要実費3,700円(名古屋駅から)

●分科会終了後 パレード

*見学・体験分科会は、事前の申し込みが必要です。裏面の申し込み要綱を参照。

全体会

11月17日(日) 10時～15時

●開場 9:30
物産展は16:00まで開店

ウインクあいち ホール

オープニング

“明日に輝け” あいち合唱団によるステージ

憲法改悪・教育・福祉・雇用・震災復興・消費税・年金と課題は山積し、子どもたちの将来を不安に感じる世相の中で、それらに果敢に立ち向かう女性の姿を表現する「合唱団」をこの集会のためにつくりました。荒削りながら、たくましさ、優しさ、思いやりを精一杯表現します。

講演

ブラック企業にご用心 就活・転職の落とし穴

—人間らしい働き方を取り戻すために—

映画監督 土屋トカチさんとの対談

愛労連議長 樽松佐一さん、弁護士 矢崎暁子さん

「ブラック企業にご用心 就活・転職の落とし穴」上映後対談



いま、20代の過労死・うつ病の蔓延や「ブラック企業」が社会問題化しています。

非正規になるのも、過労死をするのも自己責任ではありません。働くことは、本来、自分の能力をいかし自立した社会の一員として、自己実現も含めて、いきいきと働き続けられるものでなくてはなりません。異常な働き方を規制し、本来の労働を取り戻すために考えましょう。

プロフィール 土屋トカチさん

1971年京都府生まれ。映画監督。龍谷大学法学部卒。母子家庭に育ち、新聞配達・書店員・工場請負作業員等を経て、2000年、某映像制作会社に就職。02年、会社都合により解雇。現在、映像グループ ローポジション所属。08年の劇場デビュー作「フツウの仕事がしたい」が、09年度英国・レインダンス映画祭、ドバイ国際映画祭でベストドキュメンタリー賞を受賞。現在、新作準備中。レイバーネット日本事務局長。ブラック企業大賞企画委員。

文化行事



今の時代、お寺や神社、教会等、何かイベントがある時は身近に感じられるのですが、実際のところ、特に若者を中心に疎遠になってきているのが現状かと思えます。

今回立ち上がった

坊さんバンド G.ぶんだリーか は、そんな方々に仏教のあたたかく優しい教えを伝えたい、宗派の壁を越えていのちの尊さ・有り難さを伝えたい、そんな気持ちで結成した住職たちの集まりです。基本的なテーマを「いのちの輝き」とし、法話と音楽の活動を進めていきたいと思っています。

坊さんバンドGぶんだリーかインフォメーションより抜粋
<http://www.bousanband-gp.com/index.html>



●基調報告・たたかひの交流・決議・アピール採択など